



## 令和5年 第4回奈井江町教育委員会議事録

	<b>1. 開会 15:00</b>
松本参事	<p>本日参加される教育委員さんが全員お揃いになりましたので、第5回教育委員会を開催します。</p> <p>4月に入りまして、私どもの体制が変わりました。文化振興係の桜井主幹が役場町民生活課の方に異動となり、文化振興係長の久保が主幹に昇格、係長には高田が異動してまいりました。改めてこの体制での1年となりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、教育長挨拶以降進行の方よろしく願いいたします。</p>
相澤教育長	<p><b>2. 教育長挨拶</b></p> <p>今、松本局長から話がありましたが、局長については、参事職に昇任になりました。皆様のご支援いただいた中、働きが認められたということであり、改めてお礼申し上げるところであります。</p> <p>4月に入り、この後行政報告の中でも若干触れたいと思いますが、新たに地域おこし協力隊の山本奏汰君というトレーナーが着任、コミュニティ・スクールのコーディネーターとして別部睦子さんに委嘱ができ、人的な部分の充実も図られています。また、ななかまの方では、開設当初は、授業をやらない塾でしたが、子どもたちが算数の文章問題を苦手としているということもあり、実験的に『ちょこっと授業』という形で15分程度のものをぜひやらせてください、という話を受け、5月から取り組むこととしています。先日、模擬授業も見せてもらいましたが、成果が期待できる授業になっていると印象をもったところです。</p> <p>教育委員会の中で色々な分野で、活動が動き出しました。今年も沢山の議論をいただき、良い教育行政をしていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。</p>
相澤教育長	<p>それでは議事に入っていきます。</p> <p>前回の会議録の承認ということです。事務局から説明をお願いします。</p>
井上係長	<b>3. 前回会議録（令和5年3月28日）説明</b>
相澤教育長	議事録について皆様の方から何かありますか。
委員	ありません
相澤教育長	では、前回会議録について承認といたします。
相澤教育長	<p><b>4. 報告第1号 教育長行政報告</b></p> <p>それでは報告事項、私の方から行政報告について申し上げます。</p> <p>議案書の1ページ、3月30日と、少し飛び4月11日、奈井江商業高校の今年度入学者数が5人になり、その存続に向けて30日空知教育局長、11日が本庁の倉本北海道教育長のところに町長と私と松本教育長とで要請活動を行っております。明後日27日には、高校配置計画の今年度1回目の地域別検討協議会が開催される予定です。当日、私の方から商業高校のポテンシャルや必要性について説明していきたいと思っております。</p>

相澤教育長	<p>4月1日、冒頭の挨拶と重複する部分もありますが、地域おこし協力隊のスポーツトレーナーで、千歳市出身の山本奏汰君が着任しています。</p> <p>また、4日にはコミュニティ・スクールのコーディネーターで別部睦子さんに委嘱をしております。</p> <p>7日から春のあいさつ運動を行っています。例年ですと、交通安全運動と一緒に実施していますが、統一地方選挙があり交通安全運動は5月に実施となります。このため、教育委員会として新入学児童が通学を始める7日から、例年通りあいさつ運動を行い、保護者の方や更生保護女性会の方などにご協力いただきながら、14日まで実施をしています。</p> <p>同日7日、小学校と中学校で始業式と入学式が行われています。</p> <p>小学校は、新入学児童が29名、全校生徒は昨年186名でしたが、178名で8名減です。中学校については、新入学生徒が39名、昨年全体で95名だったものが102名ということで7名増です。ご案内の通り、旧6年生が2クラス編成で人数が多かったものですから、その影響が出たような人数になります。</p> <p>また7日の夜には、コンチェルトホールにおいて、ほくでんファミリーコンサートを開催しております。北電さんがスポンサーとなり、実質的な動きとしてはHBCさん、演奏者としては札幌交響楽団です。コンチェルトホール初と言っていいと思いますが、ステージの上に30人以上のオーケストラ楽団員により、町内外から約212人の聴衆の方にご来場いただいていることで、本当に盛大な素晴らしいコンサートになったと思っておりますし、今年度はコンチェルトホール30周年ですが、素晴らしいスタートになったと思います。</p> <p>10日、奈井江商業高校の入学式に町長と共に来賓として招かれています。新入生5人、全体としては、昨年50名の生徒数が35名で15名減の状況です。当日、男子生徒が新入生代表の挨拶をする予定でしたが、少しプレッシャーがあったようで、急に来られなくなってしまい、新入生代表の挨拶は割愛した形で入学式を行いました。次の日からは元気になっているようです。そのような部分も含めて、心の成長が少しずつ図られていく形で学校生活を送れるよう先生たちの指導が行われていくと思っております。</p> <p>18日、全国学力学習状況調査が行われており、25日には小学校にてアンケート的な質問用紙の調査がオンラインで実施されています。</p> <p>行政報告からはずれますが、今後の予定ということで、ふれあいまつりについては7月1日。産業まつりについては、これから実行委員会ですが、例年のような日程ですと8月19～20日。芝桜まつりについては、今年度は実施しないとのことで、それぞれ中学校ブラスバンド部など、産業まつり等々で出番があればと思います。</p> <p>以上が行政報告でございます。皆さんから何か質問等ありますか。</p>
委員	ありません
相澤教育長	それでは、報告第1号 行政報告は承認といたします。

相澤教育長	<b>次第5. 議事。</b> 委員会で用意していたものはございません。
相澤教育長	<b>次第6. その他</b> 事務局からの説明をお願いいたします。
事務局	社会科副読本編集委員会について説明～松本参事
相澤教育長	説明が終わりました皆様から何かありますか。
井上係長	これが今使用している副読本になります。回覧いたしますので、見ていただければと思います。
	～副読本回覧～
三原委員	以前、学校訪問の時に図書室で見ました。
林委員	30冊くらいありましたね。うちの田んぼも出ています。
三原委員	これは12年前くらい前に編集されたのですね。
松本参事	今後も見直すことは続きますが、新たな視点としては令和6年度に教科書改訂も予定があり、その情報も含めながら、どのような内容を入れていくべきか、打ち合わせをしながら作り上げていきたいと思っています。
矢萩委員	令和6年度の教科書改訂は小学校と中学校ですか。
松本参事	小学校です。
三原委員	現状では使われてないっていう事ですが、改訂して内容が合えば使われる見込みがあるということですか。
松本参事	学校でも“どんなふうに使っていくのか”を検討して、中身を見たときに足りないことがあるのか、とかを相談しあいながら、編集作業を行いたいと思っています。
三原委員	使う前提で作っていくということですね。
松本参事	はい。社会科の中では、地域を学ぶ活動が3年生、4年生でそれぞれ入っています。その時に、参考資料としてなのか、それとも、教科書に沿っているような形で中身を見るのかなど、活用方法もありますので、相談しながら編集を進めて参ります。
相澤教育長	実際に、3年生・4年生で、地域探求で奈井江のこと勉強するにおいて、編集からすでに10年以上も経過している副読本では、中身が古すぎて現状に合わず使えないということでした。実際の地域探求の授業をどのように進めているのかと聞いたところ、町のホームページを活用しているということでした。ホームページの内容も新しいとは言えないので、こちらも改善する必要があると考えています。
林委員	確かに、副読本の内容は相当古いです。奈井江のメロンは20年以上前の話になります。
三原委員	「メロン作りのはじまり」の記載の部分ですか。今までの歴史として、始まりについての記載はあっていいと思います。
林委員	「はじまり」とはいえ、30年以上前の話になります。教育長の言う通り時代に沿ってない。
相澤教育長	今や奈井江の特産品である「ゆめぴりか」の「ゆ」の字もでてきてない。そして今後は、冊子も紙にしないでデジタルベースをメインとして、内

相澤教育長	容を適宜修正可能にできるようにと思っています。
矢萩委員	これからはペーパーレスですね。
相澤教育長	このかたちでやろうと思います。どうぞよろしくお願いします。
相澤教育長	給食費の件です。 ○給食費無料化の今後について～説明
三原委員	4～5年前にもこの話題が出て、私としては「タダ」というのは無いと思います。子どもの食事は親の責任だと、その責任を取り上げる形になるのが危惧されたので、現状の支援になったことを覚えています。 その時から気持ちは変わらないです。払うべきものは払う必要があると思っています。国がその方針ということなのですか。
相澤教育長	国が100%持ってくれるのかも、まだ全然わからない状況です。 ありがちなのは、例えば福祉政策だったら国が2分の1で、北海道と市町が4分の1ずつ負担というようなことはありますが、現状では全くわからない。ただ、「無償化」ということが言われている状況です。
矢萩委員	いつ頃はっきりわかるのでしょうか。
相澤教育長	それもわかりません。衆議院の解散ということにも係わってくるかもしれない。
三原委員	国がやるということになれば、それに従うということですね。
相澤教育長	国として制度設計されれば従うことになります。それで国の方でお金出してくれるのでしたら実施ということになります。 ただ、町の意向により単独でやるとしたら、諸条件が出てくることになると思います。
林委員	私としては、子どもの食費を払うのが親の義務という思いです。保護者としては、補助が多いに越したことはないですけど、現状の補助スタイルを継続する方法がいいと思います。ただ、選挙によっては国の動きも変わるのかもしれないですが。
矢萩委員	キュビナとか補助の先生とか、全体を考えると、どちらを優先的にするかということになると思うのですが、全くそれが無いのであれば、保護者の立場からは給食費を払わないに越したことはないと思います。 これだけ少子化が叫ばれているので、子どもを産んでもいいかな、と思えるようなことをしたら良いと思います。給食費も国なのか町なのか、面倒見てくれると負担も軽くなるので、少子化対策にはなるかもしれません。どこに予算をかけるかということも、給食費だと全体に配分されるので公平性が出てきますが、補助の先生や、ななかまの経費ということになると、通わない子どもにしたら関係ないということになります。公平性から見ると、給食費を無償にする方がメリットはあると思います。別なところにお金をかけるとなると、それを利用した人にしか利点が無いということも出てくるので、その辺を考えていく必要があると思います。
相澤教育長	まちづくり計画の推計では、子どもの数としては、少しずつは減少しますが、例年で230人位、令和6年が240人位ですので、それほど変わらない。

相澤教育長	<p>当然、町全体で議論するので、仮に給食費が1000万円増えたとして、それを教育委員会の事業をやめて、捻出するかというと、そういうことではなく、例えば、保健センターで行っている検診等を有料化に変えたり、道路の改修をやめたりだとか、農家さんに対して補助金を出していますが、いろいろな事業を見直して1000万円分の事業をやめる、という議論をしていくことになります。</p> <p>もう少し踏み込んで考えると、現在、第2子が半額と第3子が全額助成になっていますが、それはどうですか。三原さんはそもそもそれすら要らないという考えですか。</p>
三原委員	<p>現状のままでいいと思います。子どもが増えていくにつれ助成が受けられるということですよ。少子化、子育て対策ということで、あって良いと思います。</p>
林委員	<p>同じです</p>
相澤教育長	<p>現在、第2子、第3子で年間500万円位かかっています。その500万円があったら、例えば先生1人雇えるということになります。</p>
三原委員	<p>近隣の町は無償化に向かっていくと思います。その中で、奈井江だけ無償化にしないとした時に、逆に暮らしにくい町で目立ってしまうのではないかと心配はあります。</p>
林委員	<p>極端な話、先手で進めた方が良いと思います。</p>
相澤教育長	<p>しかし、今、無償化といっても先手とはならないし、全くインパクトがないと思います。でもキュビナを使っているのは奈井江と長沼町だけです。</p>
三原委員	<p>給食費は有償だけど、特色ある施策をやっています。施策として訴えるところがあれば、納得はいくと思います。</p>
矢萩委員	<p>来年とか再来年に、給食費が2番目も3番目も有償となると、現在2人目半分、3人目無償となっている世帯の保護者は「えっ、払うの」と思うことになります。今まで無償だったものが、月に5,600円ずつ払うことになると、より良い教育施策より、給食費の助成が良いという保護者が絶対いると思います。直接の負担が大きくなるので不満がでてくる可能性があると思います。</p>
相澤教育長	<p>それはきっと、色々ところで出てくると思います。ただ、そういうことだから削減できないとしたら、奈井江町の予算は、教育だけじゃなくて保健・医療・福祉、全部どんどん着膨れしていくことになります。</p>
矢萩委員	<p>その予算を削りたいのですか。町としては、給食費助成が負担になっているということですか。</p>
相澤教育長	<p>町としては、令和6年度までのまちづくり計画の中では位置づけしているので、そこまでは助成を続けますが、その先のことは全く議論されていません。相澤個人の考えとしては、飲み食いに使うのであれば、先生1人雇いたいとか、キュビナを続けたいとか、あくまでもこれは例えばですが、政策にお金を使っていきたいという思いです。</p>
三原委員	<p>この無償化をなくしてでも。</p>
相澤教育長	<p>なくしてでもです。</p>

矢萩委員	給食費無償とキュビナ両方は無理というような、予算が増やしづらい状況になっているということなのですか。
相澤教育長	もう何年も予算査定の様子を時々お知らせしていますが、非常に厳しいです。だから、あれもこれもという予算にはできない。その中から重要なものを、上から選んでいく必要があります。去年行っていたからそのままということではなく、1度ゼロベースに立ち返り、必要なものを積み上げていくという感覚にしていく必要があります。
矢萩委員	予算がないという段階で、どうするかということなのですね。今日、結論を出す必要がありますか。
相澤教育長	令和7年度以降のまちづくり計画に向けてということではありますが、ぼやぼやしていると、あっという間に議論の時間が経ってしまいます。 今回、統一地方選挙があり、色々なところがそれを公約に掲げている中で、奈井江町はまだ一切議論していないので、先んじて今ここで議論させてもらったということです。来月の教育委員会までに方針を決めるとかそういうことではありません。
矢萩委員	7年度ということは再来年ですね。
相澤教育長	個人的なことで言えば、今の第2子、3子の400～500万円ぐらいあれば、理科の実験器具であったり、毎年削っているものを買ってあげたいと思います。タブレットも5年経ったら更新しなければいけない、ずっと古いソフトを使わせるのも子どもたちが可哀そうだと思います。今日も参観日を見ていたら、充電がなくなったと言い、タブレットを使わず、しばらく紙で取り組んでいる子がいました。年数が経過すると、iPadのバッテリーが弱り、そのようなことが多く出てくると思います。国の方で全額更新費用を負担するというのであれば問題ありませんが、きっとそうことにはならないと思います。今住んでいる人達に対する子育て支援として、お金が掛るから経済支援しますという一面と、これから奈井江の人口を増やす、若い人の定住を促すときに、奈井江ではこんなことやっているアピールする一面と、政策を決めてく時の見方があると思います。前回のまちづくり計画を決定する時には、教育委員会でそのような議論をした上で見直したと思っている。給食費無償化をやめたら、保護者の人から文句が出るということを恐れては何もできないと思っています。そこは、給食費に関わらず、色々なことを辞めることもあるし、新たなことをする必要もでてきます。そこは、恐れずしっかり説明を果たしていく中で、このようにしていきますということは、行政としては必要なことだと思います。
矢萩委員	タブレット的なものとかそれに関わる経費が本当だったら全額国から出ればいいですね、ICTを推進しているのであれば。
相澤教育長	ありがちなのは、初回の整備時は国から出るけど、更新は町でやりなさい。普通交付税で一般財源化しているのだからと言われるのです。しかし、町の交付税の額は全く変わっていないのが現状です。中身のメニューを変えているだけで、国への不信感があります。

矢萩委員	小さい町だと、予算が取れず、せっかく買った物が、更新できず無くなってしまふということも日本全国に出てきますね。
相澤教育長	何人の人口規模で行政を行うかでも変わってくると思います。奈井江町だと、町全体で5,000人、子どもたちの数はこれだけいて、タブレット更新するとしたらこれだけかかる。子どもの数が少ない自治体だったらタブレットなら更新できるということもあると思います。新聞で読んだだけですけど、札幌市長の公約で、給食費無償化を1度は掲げましたが、いざ当選してみると財源をどうするかということになっている。実行となると色々な要素があるということです。
林委員	給食費無償化についてですが、自分的には、やはり払うのは親の義務だと思います。全て国をあてにするのではなく、きちんと払うべきだと思います。
相澤教育長	<p>昨日、ホームページを見ていて、昔、町内で塾を行っていた人が、近隣で行っているのですが、中学生向けの受験対策として週に1～2回で、1科目1万円くらいです。受験が近づけば、やはり1科目だけでなく、更にもう1科目となれば2万円。日数も増えれば3万円になる。塾に行ける経済力がある人はいいかもしれないですが、その塾代を払えない家庭とかもあります。しかし飲み食いはどこでもしなければなりませんし、給食は1食266円で食べられるのであれば安いと思います。</p> <p>ただ一方で、“ななかま”は行こうと思えば、無料で通えます。やはり“ばらまき”というよりは、成績的なことにお金を使った方が、より町民還元になるのではないか、サービスとしては質が高いのではないか、という気が今までの経験からしています。</p>
三原委員	“ななかま”は当初、有料にしようか無料にしようかで迷った時期があったと思いますが、今後、有料にする可能性はどう考えていますか。
井上係長	担当として、今のところ有料化には踏み切れないと考えています。有料化も最初は検討しましたが、家庭によって、いくらだったら払える、いくらなら来ない、行かせないという線引きが難しく、そのことを検討しようと思いつながら、“ななかま”の事業もどんどん進み、本格的な有料化の方向に進めなくなったのが現状です。また今は、協力隊の経費を活用して実施できていることもあり、具体的検討に至っていません。
三原委員	破格ですよ、ななかまって。無料でいれる場所として。
井上係長	今は全て、地域おこし協力隊の事業費を充てています。1人480万円上限で3年間交付されており、その財源をあてにすると3年ごとに人を代えていく必要があります。ただ、講師を代えるとした時に、良い人材が常に雇用できるのかという問題があります。“ななかま”の成果も、結局は良い講師、人に由来しています。そうした時に、今の良い講師を、ずっと雇用したいとした時には、国からの財源をあてにできなくなるので、町としてお金が必要になるということです。できれば、良い人がいれば長く雇用して、奈井江の子どもたちに安定した教育や体験活動等をさせてあげたい。
三原委員	給食費無償化をやめたら今の先生を雇用できるということですね。

井上係長	それは、ご本人が残ってくれる、残ってくれないという、意思希望が当然あります。ご本人の気持ちと両思いになれば、子ども達にとっても良い環境が提供できますが、その先生たちがここに残るとなった時には、起業というような、現状とは違う形に変わっていく可能性はあります。その場合、少なからず、一般財源としての予算化、大きな支出は必要になってくると思います。
相澤教育長	1つ1つの事業を見つつ、全体を俯瞰しつつということです。
矢萩委員	予算が限られているので、その中でどれを優先していくのか、今後の課題。財源が沢山あれば、色々出来るということですね。
林委員	優先順位をつけるのが難しいですね。
相澤教育長	5年に1回、町民レベルでしっかり話をしたのがまちづくり計画となっています。僕の基本的な方針としては、“ばらまき”よりは、政策的なことにしっかりお金を使っていきたい。もちろんそれが100ゼロではないですが、少しは“ばらまき”も必要という時もあるかもしれません。 低所得対策も、考えなければいけません。 とりあえず今日の議論としては、ここまでにします。
相澤教育長	それでは、その他で各担当の方からこの後の予定等について説明してください。
事務局	○4月教育委員会連絡事項 ・教育支援係～井上係長より説明 ・文化振興係～大久保主幹より説明
相澤教育長	何か質問ありますか。
三原委員	CSの子ども会議の状況をわかる限りで教えてください。
井上係長	子ども会議のメンバーについては、現在、小中学校の児童生徒会の方に推薦をお願いして一定数、推薦をいただくことになっています。公募の方については、今のところ「ゼロ」という状況で、奈井江商業高校にも、先日、生徒会の集会がある時に訪問して、公募の呼びかけをしてきました。中学校の方にも、明日、生徒集会時に訪問して呼びかける予定です。
相澤教育長	本日配られた資料「まち中音楽」について、事務局からの説明を。
松本参事	生涯活躍の町で進めていく「まち中音楽」の基本構想を策定しましたので説明します。資料説明
相澤教育長	質問等ありますか。
矢萩委員	とても素晴らしいと思いますが、実際、私と三原さんと、細々とウクレレを行い、もう2～3年になります。当初は深川の先生が来ていたのですが、先生の都合や色々と事情があり来ていただけなくなりました。地道に少人数ですがサークル活動を継続していきたく進めています。文化ホールを使ったりしながら月に1回練習しています。この事業は、「まち全体を音楽で」ということで素晴らしいと思うのですが、現在、細々と行っているサークルとかを実際に見学してもらったり、楽器に触ってもらったりとか、今あるものを大事にしていくことも必要だと思います。例えば、ウィーンやデンマーク、北欧のように駅前とかで、バイオリンやチェロを弾いたり

矢萩委員	<p>しながら、人が集う、町中で音楽が響くという国もあります。そういうものを目指すのは素敵だとは思いますが、では実際に誰が弾くの、ということになると難しいと思います。お金をかけて外部から来て演奏してもらうという話でしたら可能だと思いますが、この少ない人口の中で、継続していけるのか。お年寄りが多いので、そういう人たちが、もっと行きやすく楽しむもの。若い人も入ってくれるといいと思うのですが、新しい取組ばかりではなく、今あるサークルを広める活動も必要だと感じます。</p> <p>そこから、色々な発想が出てくると思います。砂川や滝川の音楽サークルと繋がりもあるので、話を聞くこともできます。</p> <p>地道に音楽活動しようと思うのであれば、そうした活動にも視点をおいてもらえたらと思います。実際体験してもらえればと思うので、ぜひ見に来ていただければと思います。</p>
松本参事	<p>全て新しく取り組んでいくということよりも、今ある資源を活用するという考え方もあります。ただ「楽器に触れよう」と言っても、誰も触れませんので、そこに何か仕掛けがいるのだろうと考えています。</p>
矢萩委員	<p>19日金曜日、7時から9時まで、文化ホールで活動していますので、時間があれば来てください。</p>
松本参事	<p>考えさせていただきたいと思います。</p>
相澤教育長	<p>矢萩委員の話としての主語は誰になりますか。ワーキンググループの人たちということですか。それとも町民の方ということですか。</p>
矢萩委員	<p>まずは、プロジェクトを立ち上げている人たちです。まず見てもらい、奈井江でやっている活動がどんなものなのかを感じて欲しいです。</p>
井上係長	<p>このウクレレのサークルは、町の文化連盟に所属しているわけではないのですか。</p>
大久保主幹	<p>文化連盟には入っていません。きっかけはウクレレ講座からで深川の講師を中心に独自にサークルが立ち上がったものになります。</p>
井上係長	<p>そういう音楽活動している人達が繋がり、自然と広まっていくのが理想です。町の文化連盟などの繋がりですうまく広がればとも思ったのですが、入っていない団体で活動している人もいるということですね。</p>
矢萩委員	<p>文化連盟に加入していないところもあります。ウクレレサークルは町外の人や年齢層も広いので、この資料の中にある“いろんな人たち”とか“年齢層幅広く”とか“町内町外問わず”という部分で参考になると思います。</p>
三原委員	<p>私もとてもいいと思います。ウクレレは、ハードルが低い割には、ある程度格好がつくので、本当にぴったりの楽器だと思います。ハワイでは子どもからお年寄りまで全員で弾ける。道端で、おばあちゃんが普通に演奏しているなど、それが文化になっています。それが奈井江の特色ある教育でもいいと思います。卒業しても一生使えます。</p>
矢萩委員	<p>利用しやすい楽器です。レベルも色々で入ってきやすい。</p>
松本参事	<p>ピアノであったりギターであったり、何がいいのかも含め、これから具体的な話になっていくと思います。</p>
高田係長	<p>楽器は現在みなクルに置いてあります。</p>

高田係長	カフォン、ベース、ギター、アコースティックギターとエレキギター、アンプも置いてあります。土曜日にみなクルでは、アコースティックギターを弾いている若い20代ぐらいの人が来ていました。少しずつ浸透しているように感じています。
松本参事	情報発信をしっかりとしないと繋がらないので、そこをどのように作っていくか。これから具体的にチームで検討していくという内容ですから、その中の資源の一つとして、今の話を伝えていきます。
相澤教育長	資料の12ページ“今後のスケジュール案”の上から2番目、素直にこの矢印だけを見ると、令和5年の上半期で、プランやアイデア出しは終わって、下半期からは実行部隊に移ってくるということになっていますが。
松本参事	案を作ったときはそういうイメージだったのですが、あくまで案ということなので時期がずれる可能性はあります。
相澤教育長	令和6年からはいろんなものが動いているイメージですね。
松本参事	令和6年から動き出しはしたいとワーキンググループでは話しています。実際にそこまで出来るのか、その辺がまだ見えてない部分があります。ただ、出来ることとしては、例えば音楽を流してみるでは、今年中にはできるかなと思います。サイネージを活用して、文化ホール、公民館、体育館などで音楽を流すなど、具体的な検討案で詰められるものもありますし、曲を作って活用していくなど、これから議論をしていこうと考えています。打ち合わせをしっかりと行い進めていくこと、そしてそれを町民の人にもしっかりと伝えていくこと、その考えで進めていきたいと思っています。
三原委員	「まち中」の活動は、文化的なこと面白くなりそうですね。
松本参事	やるからには楽しんでもらえるよう、専門的な意見ももらいながら検討していきたいと思います。
相澤教育長	それでは、その他について、何かございますか。
松本参事	もう1点報告です。 昨年12月の教育委員会にて、登校時のスクールバス接触事故について報告させていただきました。その後、保険会社同士の話し合いや、状況確認などを進めてきて、3月28日に責任割合が確定し、終了しました。負担割合としては双方50パーセントで示談が成立いたしましたので、報告させていただきます。
相澤教育長	みなさまから何かございますか。
委員	ありません。
相澤教育長	第4回教育委員会は終了いたします。お疲れ様でした。
	<b>7. 閉会</b> 16:13